

## 裏堀

商店街通りの南に、「裏堀」と呼ばれる北条用水が流れている。かつては泳げるほどきれいで堀幅も広がった。3kmほど北西の桜川から取水し、北条の水田を潤している。



め、五輪塔が、裏堀を見下ろす丘の上に立っている。毎年、八月七日の命日に合わせて万燈会（まんとうえ）が行われる。

## 中台

北条の東には、国指定の平沢官衙（かんが）遺跡がある。官衙とは奈良時代の役所である。石岡を国衙とする常陸国（ひたちのくに）が治めていた十一郡のうち、筑波郡の役所が平沢にあった。



平沢官衙と対をなす寺院の遺物だと想定されるものが露盤石である。五重塔の屋根の上の丸輪を支える露盤石は、現在、道祖神の基礎として使われている。

北条小学校 明治七年（1874年）開校。字名が「古城」で、戦国時代に小田氏の出城があったともいわれる。かつて校庭の中央から堀が発掘された。北条大池（ほうじょうおおいけ）北条は米どころである。北の字を丸で囲んだ印は「マルキタマイ」と呼ばれるブランド米。北条大池は農業用溜池で、江戸時代には既にあり、春の花見で賑わう。

多気太郎五輪塔（たきたろうごりんとう）裏堀を造った義幹は、その功績を称え「多気太郎さま」と親しまれて呼ばれる。非業の最期を供養するた

23

無量院（むりょういん）鎌倉初期の創建とされ、義幹の位牌がある。本尊の阿彌陀如来像は、宋朝様式をもつ鎌倉中期の作である。

石造多層塔（せきぞうたそうとう）無量院池の横の墓地内に立つ。南北朝時代の延文六年（1361年）の刻識があり、年代が分かるものとしては、県内最古級である。某家の祖先の墓として、この地に移された。



中台古墳（なかだいこふん）一辺が4m近くの巨石で組まれた古墳の石室が残っている。平沢より切り出された石が使われている。周囲には古墳の一部と見られる巨石が散在している。



石が散在しており、かつては多くの古墳が在ったことが想像できる。



久保山稲荷神社（くぼやまいなりじんじゃ）北条小学校の南にある商業の神様。神社の基礎に使われている巨石は古墳の一部ともいわれる。かつての参道は、小学校の正門脇より続き、お祭りの時には灯籠が並んだ。



## 歩いて発見！北条マップ

2016年3月発行（第三版）



●この地図について

2007年11月10日に北条で行われたアースデイつくば合同企画「歩いて発見！北条めぐり」の記録より作成しました。講師の井坂敦実氏にお話を伺いながら、13名の参加者と共に歩き、知見を深めました。

旧道や自然、史跡を見つけることで、先人の自然とつきあう生活スタイルを見直すきっかけになればと思います。お気づきの点がありましたら、アースデイつくば事務局までご連絡ください。

●参考文献 『筑波町石造物資料集 上巻』 筑波町史編集委員会、1983年 『筑波の文化財（寺社建築編・彫刻編・工芸編・絵画編・板碑編・補遺編）』 つくば市教育委員会、1989～1991年 『郷土の先達とゆく筑波山』 結ブックス、2007年

●監修／井坂 敦実（郷土史研究者）

●注意 建物や遺構の多くは個人の所有地であり、神社仏閣は地域の大切な場所です。訪れる時は、地域の方々の生活の迷惑にならないようお願いいたします。



交通 【つくバス】つくバスはつくば市のコミュニティバスです。電話029-883-1111（代）つくば市交通政策課

●つくバス北部シャトル（約30分間隔で運行）TXつくば駅・つくばセンター発→筑波交流センター下車 ●つくバス小田シャトル（約40分間隔で運行）TXつくば駅・つくばセンター発→大池・平沢官衙入口 →北条→筑波交流センター着

【関東鉄道バス】JR土浦駅より筑波山口・下妻・岩瀬方面行きのバスに乗り、バス停「大池公園前・平沢入口・北条駅入口・北条仲町・北条・北条内町・北条三差路」のいずれかで下車。

【りんりんロード】筑波鉄道廃線後に整備した岩瀬土浦自転車道。北条の南を通り、何ヶ所かで一般道路とも交差しているので街中へ入りやすい。

【自動車】国道125号線上の「内町下」または「北条新田」交差点より商店街通りに至る。商店街駐車場は「北条」交差点から入ると近い。「北条」交差点そばの筑波交流センターおよび北条大池そばの筑波総合体育館に広い駐車場がある。

## Think Globally, Act Locally.

編集・お問合せ：アースデイつくば実行委員会 <http://aruite.jimdo.com/> 歩いて発見！マップ 市内7エリア公開中 ●筑波山麓 ●神郡 ●北条 ●小田 ●金田・桜川 ●谷田部 ●荻崎

制作／ガイアグラフィクス

筑波山の南、標高129mの城山の麓に

広がる町、北条。江戸時代より

筑波山への参詣道「つくば道」の出発点として、また、一大商業地として発展する。

江戸末期から明治にかけて建てられた土蔵造りの

「店蔵」は、今でもその面影を残している。

その発展を物語る北条の歴史と遺跡は、

城山の麓に数多く点在している。

## 歩いて発見！

ほうじょう

# 北条

# マップ

